

2023年9月期 決算の概要

2023年11月10日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

これからも、地域と共に

150th

第四北越フィナンシャルグループは設立5周年

第四北越銀行は創立150周年を迎えました

-国内で現存する銀行のなかで最も歴史を有する銀行です

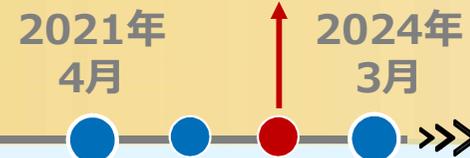
※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております



銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2023年度
中期経営計画最終年度



2023年9月期

FG連結中間純利益は当初業績予想を上回り、かつ前年同期比でも増益

組織総合力は着実に向上し、3つのシナジーを最大限発揮

合併シナジー

ダイナミックな経営資源の再配分の大宗を完了しコンサルティング力を強化

グループシナジー

第二次中期経営計画期間中におけるグループ再編は完了し15社体制へ

TSUBASA連携シナジー

TSUBASA、群馬・第四北越の両アライアンスの連携領域は一層拡大

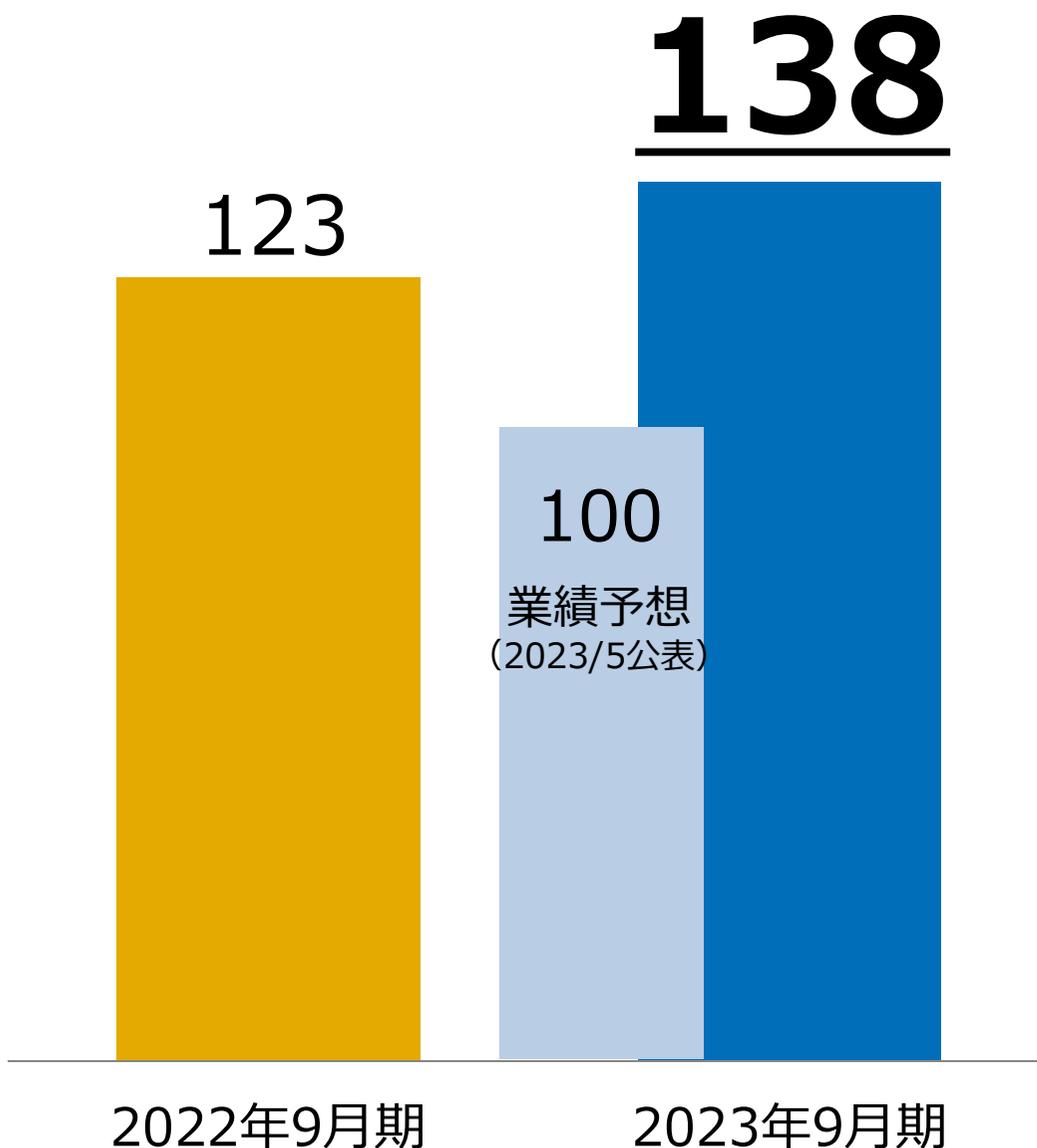
第二次中期経営計画は完遂に向けて順調に進捗中

- ✓ 地域・お客さまの課題解決に向けて、新潟県内最大の金融・情報サービスグループとして全役職員が“一志団結”でコンサルティング営業を実践



2023年9月期決算

FG連結 (億円)



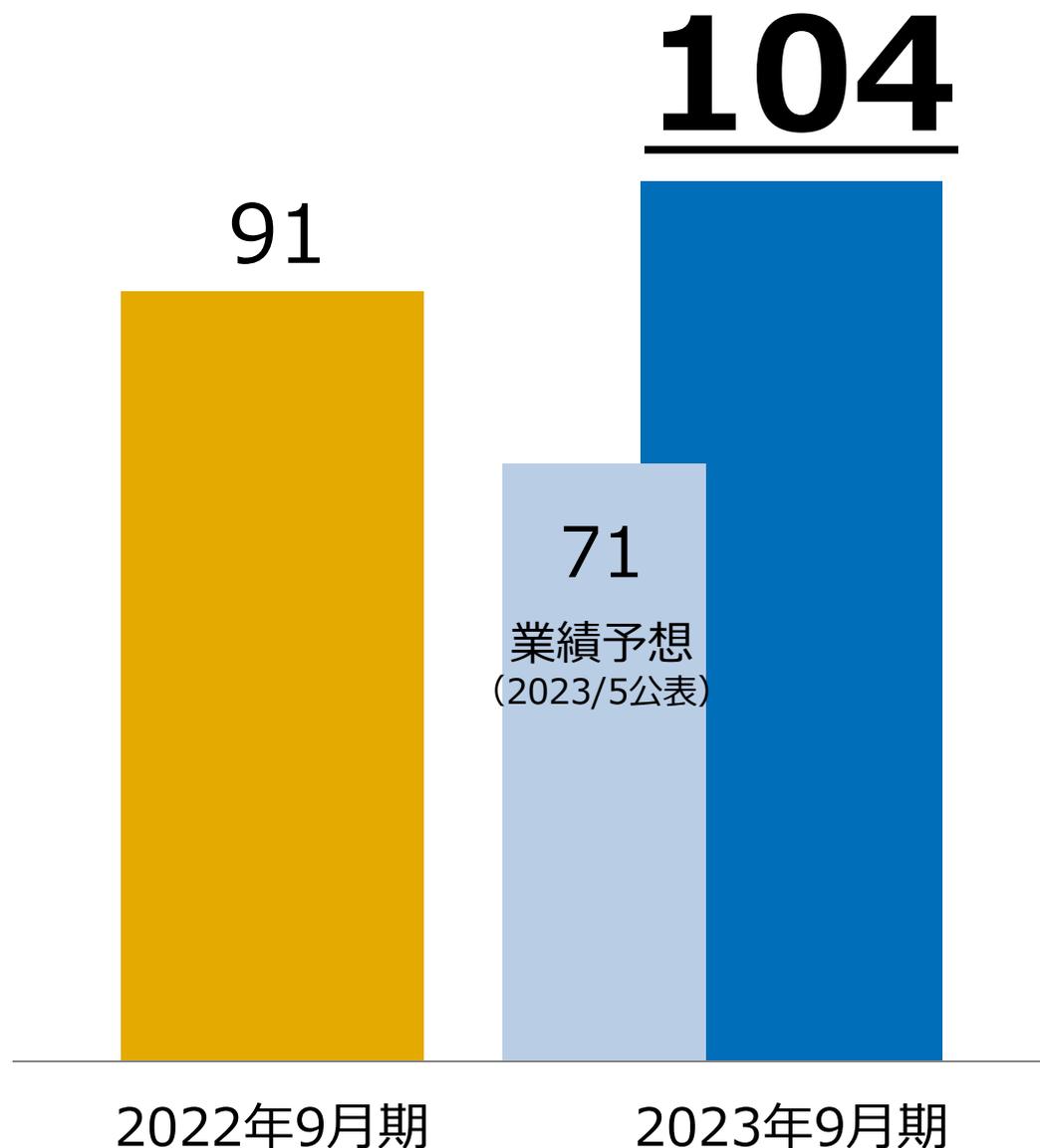
前年同期比

+14億円
(+11.6%)

業績予想比

+38億円
(+38.1%)

銀行単体 (億円)



前年同期比

+12億円
(+14.1%)

業績予想比

+33億円
(+47.6%)

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する中間純利益の合計

12



2022年9月期

18



2023年9月期

前年同期比

+5億円
(+45.4%)

証券事業

前年同期比 + 1.7億円

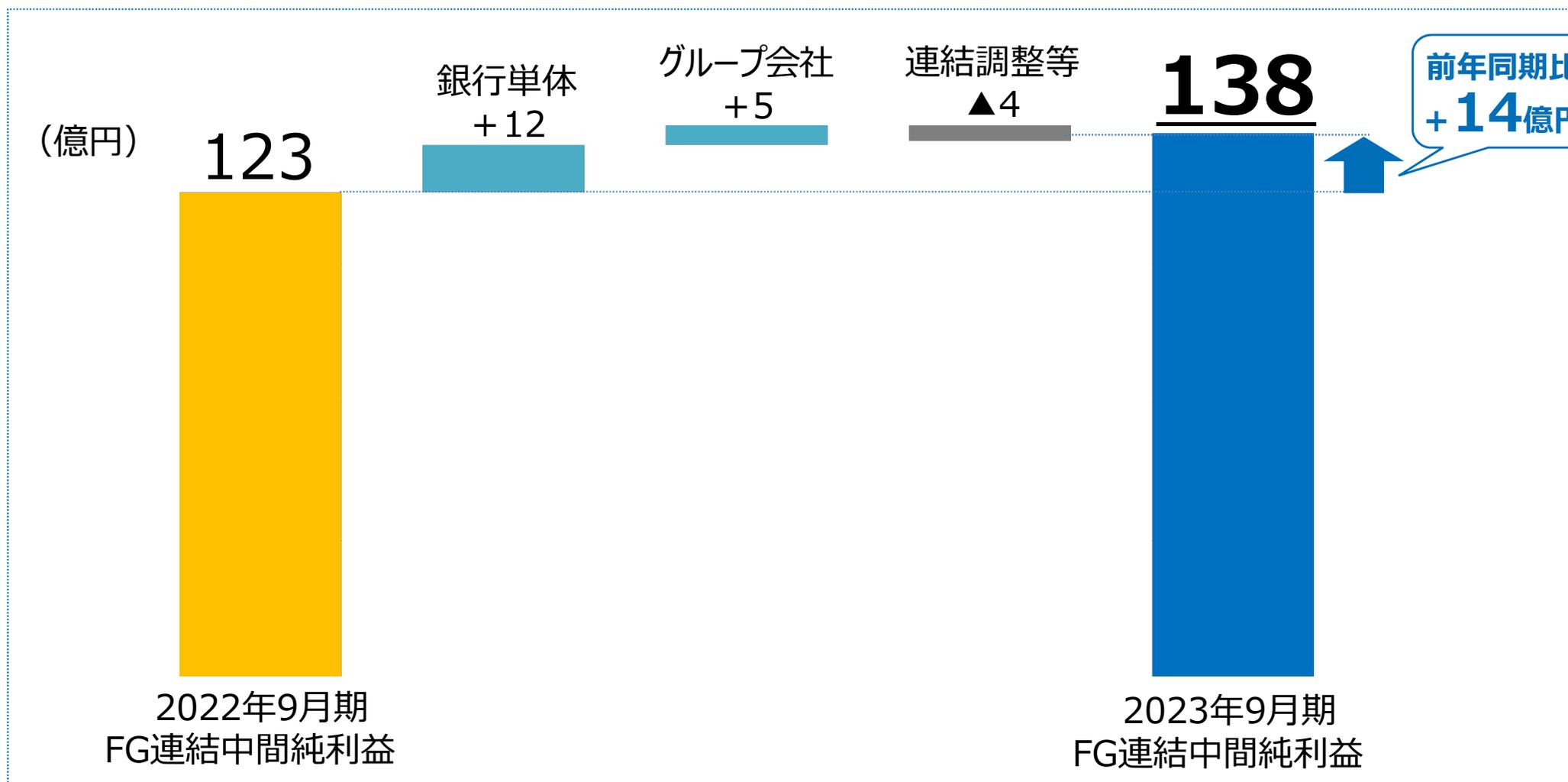
- マーケット動向を捉えたコンサルティングにより、株式や投資信託販売などによる受入手数料が前年を上回る

リース事業

前年同期比 + 3.3億円

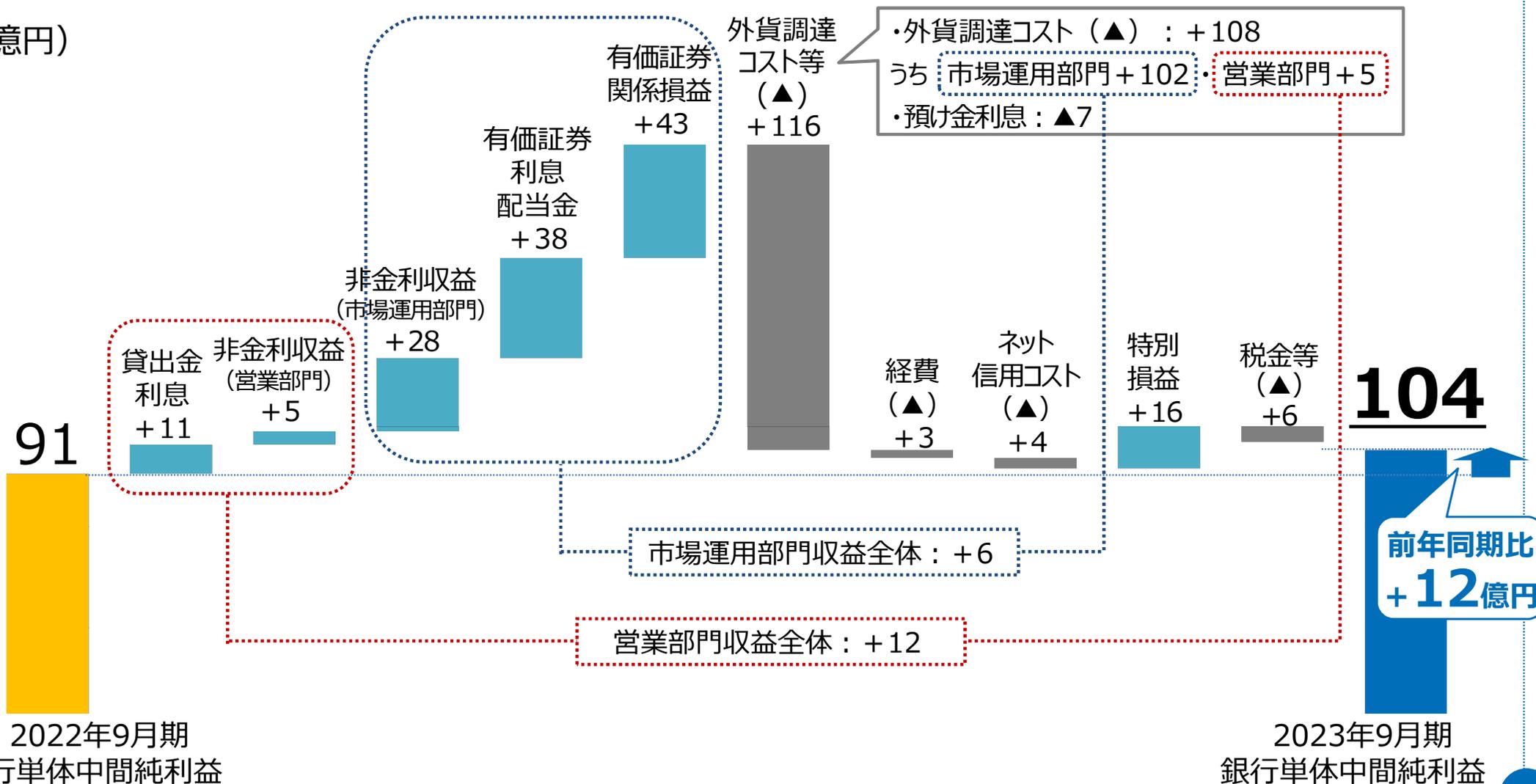
- 銀行紹介案件が着実に増加しリース資産残高が伸長したほか、信用コストが前年を下回る

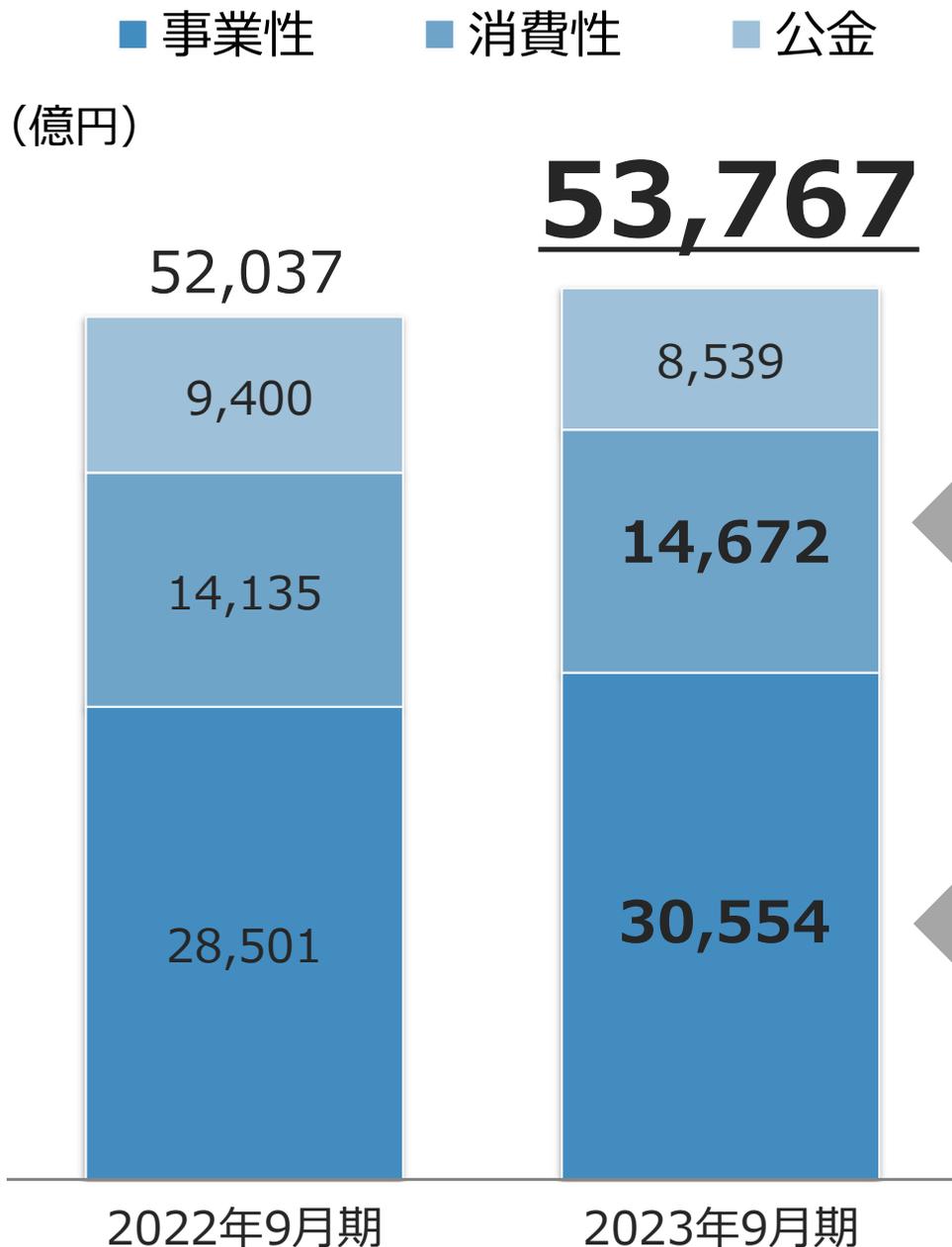
銀行単体、グループ会社部門のいずれも増益となり FG連結中間純利益は増益



貸出金利息や非金利収益の増強などにより 銀行単体の中間純利益は増益

(億円)





前年同期比

+ 1,730億円
(+ 3.3%)

消費性

前年同期比 + 537億円 (+ 3.8%)

- 非対面チャネルの活用などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

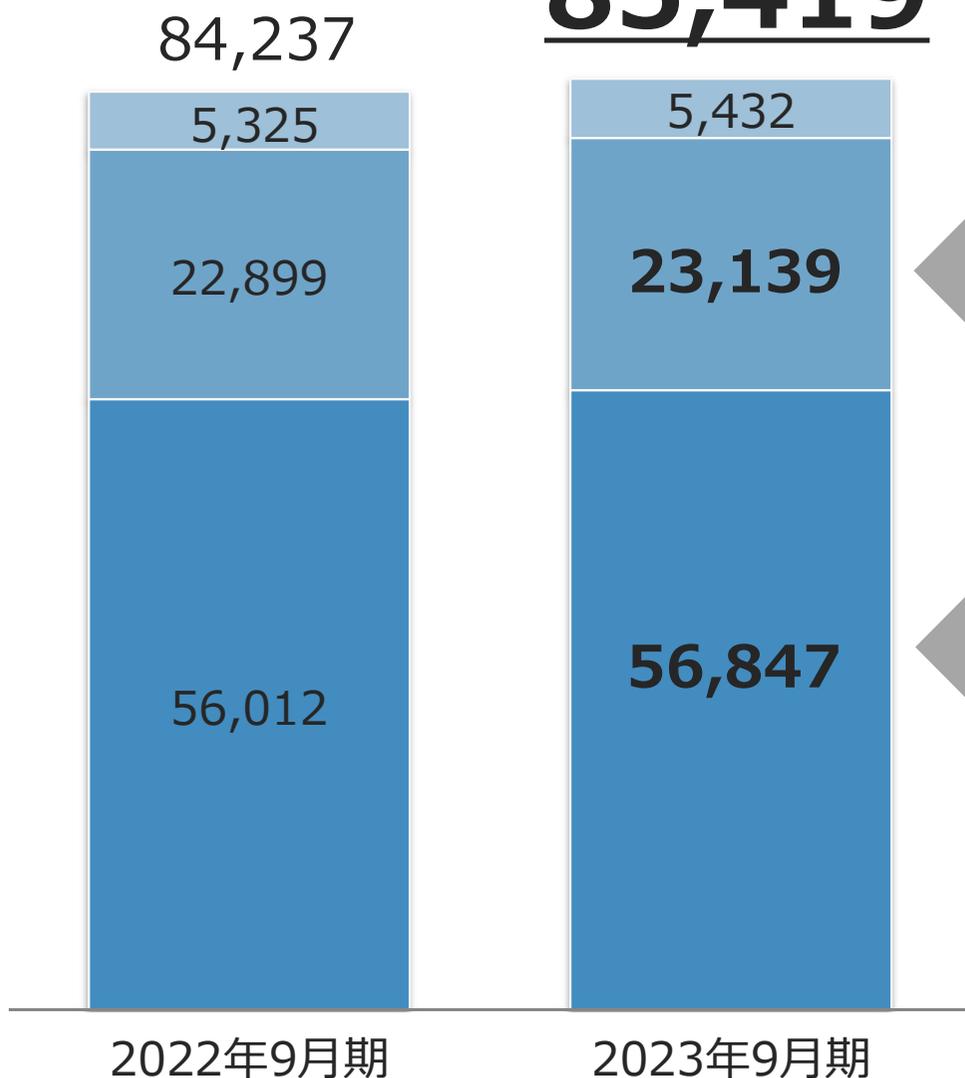
事業性

前年同期比 + 2,053億円 (+ 7.2%)

- 県内は実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）の繰り上げ返済に加え、先行き不透明感や資材高騰等を受けた設備投資の先送りなどを要因に減少
- 県外は資金需要のある大企業向けなどが増加

■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年同期比 + 1,181億円 (+ 1.4%)

法人
前年同期比 + 240億円 (+ 1.0%)

個人 (個人事業主を含む)
前年同期比 + 834億円 (+ 1.4%)

－ 譲渡性預金を含めた預金等残高は法人・個人ともに順調に増加

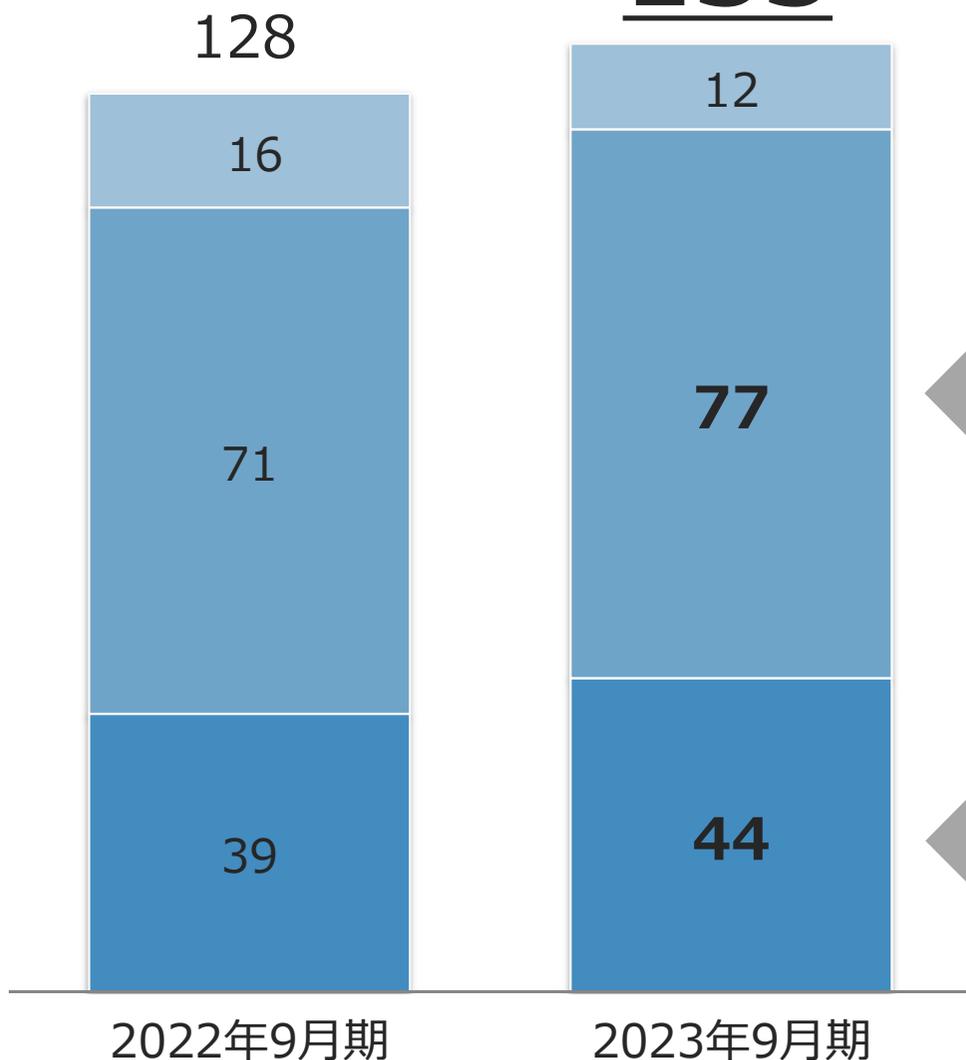
■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)

133

前年同期比

**+5億円
(+4.3%)**



金融ソリューション収益

前年同期比 +5億円 (+7.3%)

– お客さま向けの為替デリバティブ取引や事業承継・M&Aが増加

資産運用アドバイス収益

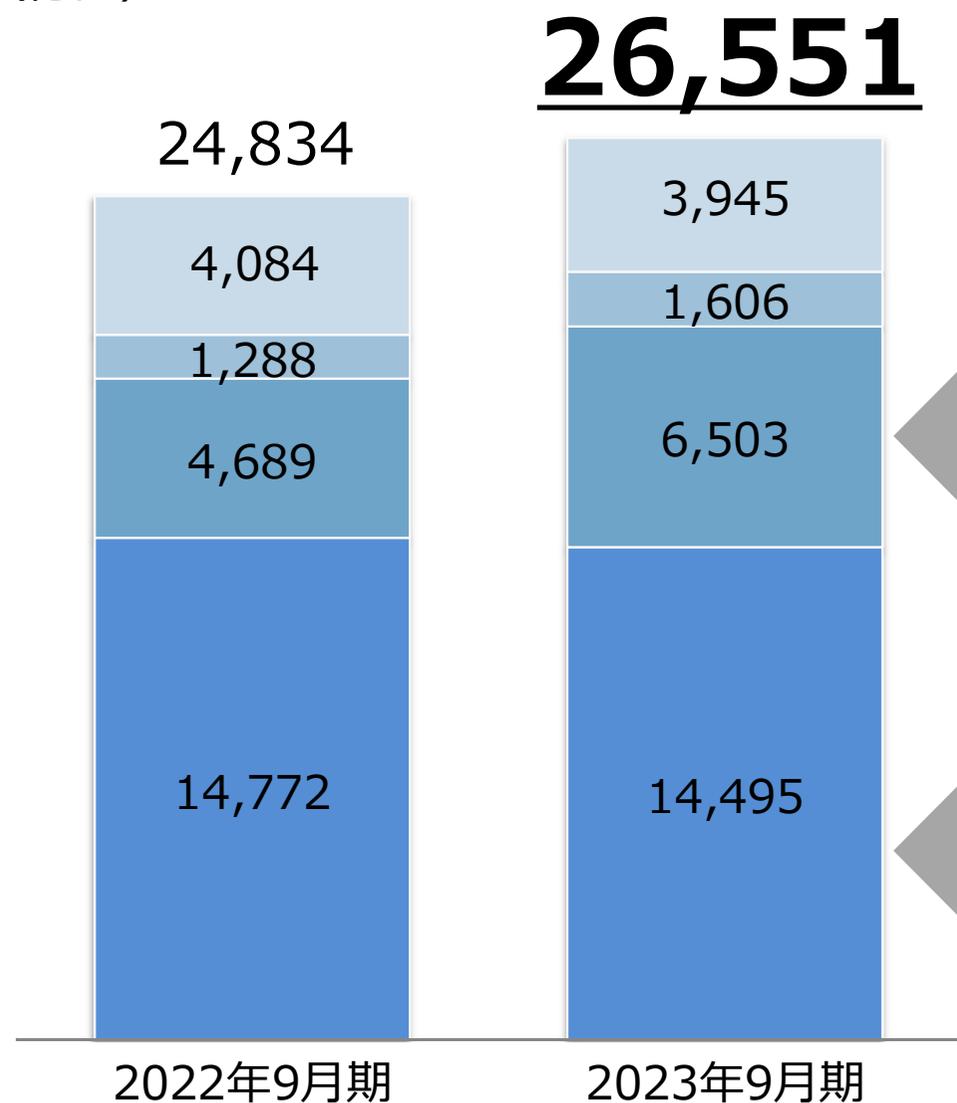
前年同期比 +4億円 (+11.6%)

– 保険や投資信託のほか、遺言信託等の相続業務が増加

有価証券残高（末残） 商品有価証券を除く

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



前年同期比

+ 1,717億円
(+ 6.9%)

外国証券

前年同期比 + 1,814億円 (+ 38.6%)

- 債券購入と金利スワップを組み合わせる金利リスクを抑制しながら収益獲得を図るアセットスワップ取引を活用し増加

国内債券

前年同期比 ▲ 277億円 (▲ 1.8%)

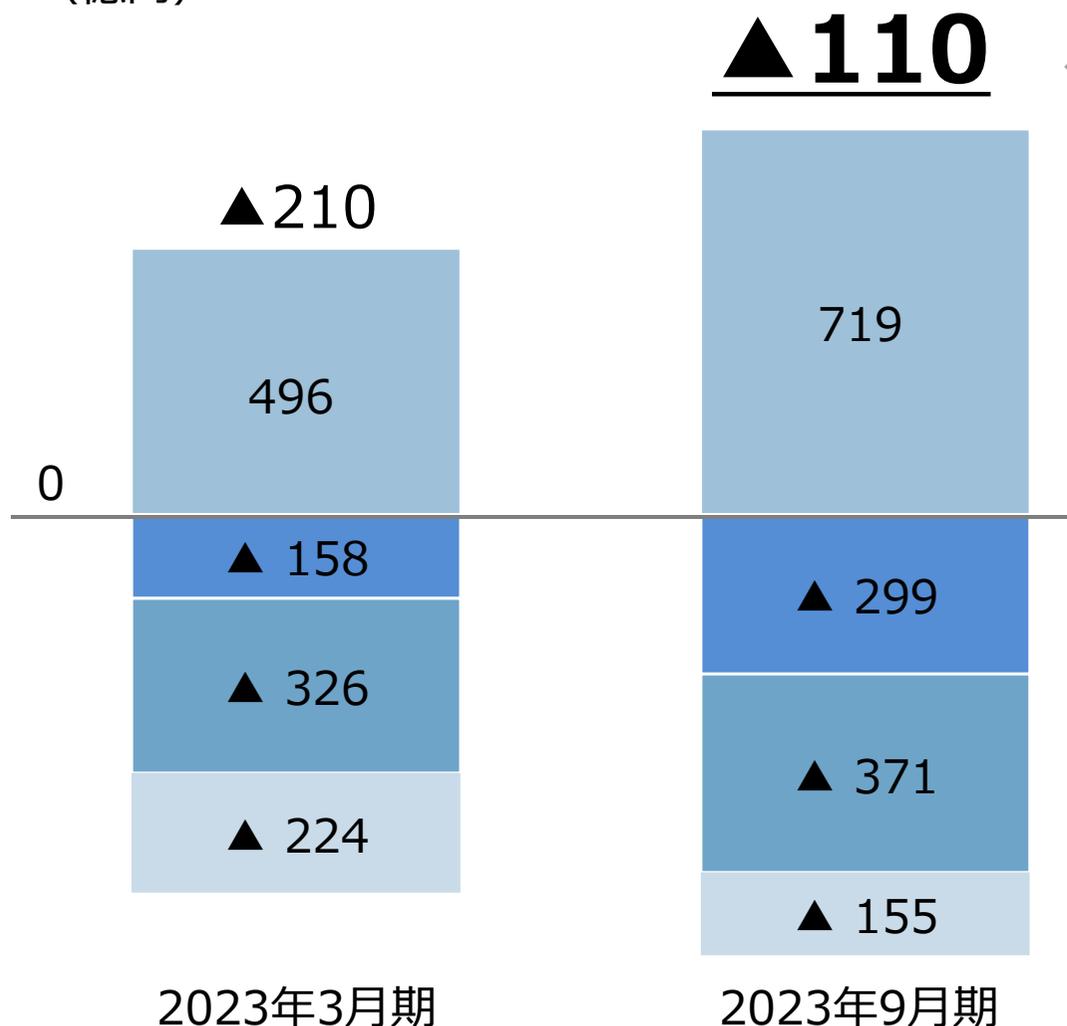
- 金利上昇に備えて債券の購入を抑制したほかマーケット動向を捉えた利益確定売却を実施したことなどから減少

銀行・市場運用部門 有価証券評価損益

国内債券及び外国証券については、金利スワップによる繰延ヘッジ考慮後の評価損益

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



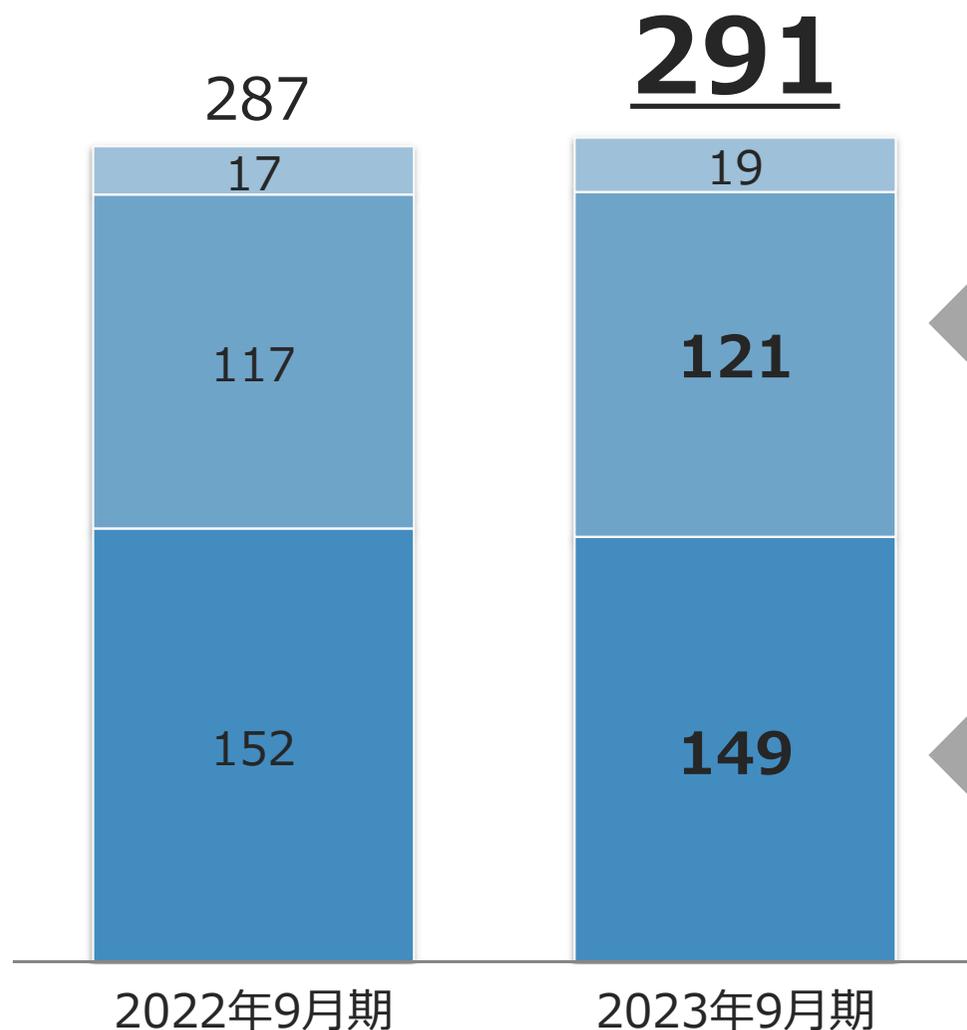
有価証券評価損益

2023年3月期比 + 99億円

- 国内金利の上昇により、国内債券の評価損益が悪化したものの、国内株価の上昇により、株式の評価損益が大幅に改善したことから、有価証券評価損益は改善
- 債券運用の大宗は日本国債や米国債、ドイツ国債等の償還に懸念のない高格付の先進国の国債のため、満期まで保有すれば額面で償還され、売却しない限り評価損が実現することはない

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年同期比

+3億円
(+1.2%)

物件費

前年同期比 +4億円 (+3.9%)

- 事業者向け法人ポータルサイトや、新紙幣、セキュリティ強化などへの対応により増加
- 厳格なコスト管理を進める中においてもコンサルティング機能の強化やお客さまの利便性向上に資する投資は積極的に実施

人件費

前年同期比 ▲3億円 (▲2.3%)

- 店舗統合や業務改革による業務量減少に伴う人員数の適正化などにより減少
(定年退職、採用の適正化等による自然減)
- コスト削減を進める中においても、人材育成への投資は毎年増加

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

2.29

2.23

不良債権比率

前年同期比▲0.06pt

(億円)

17

21

ネット信用コスト

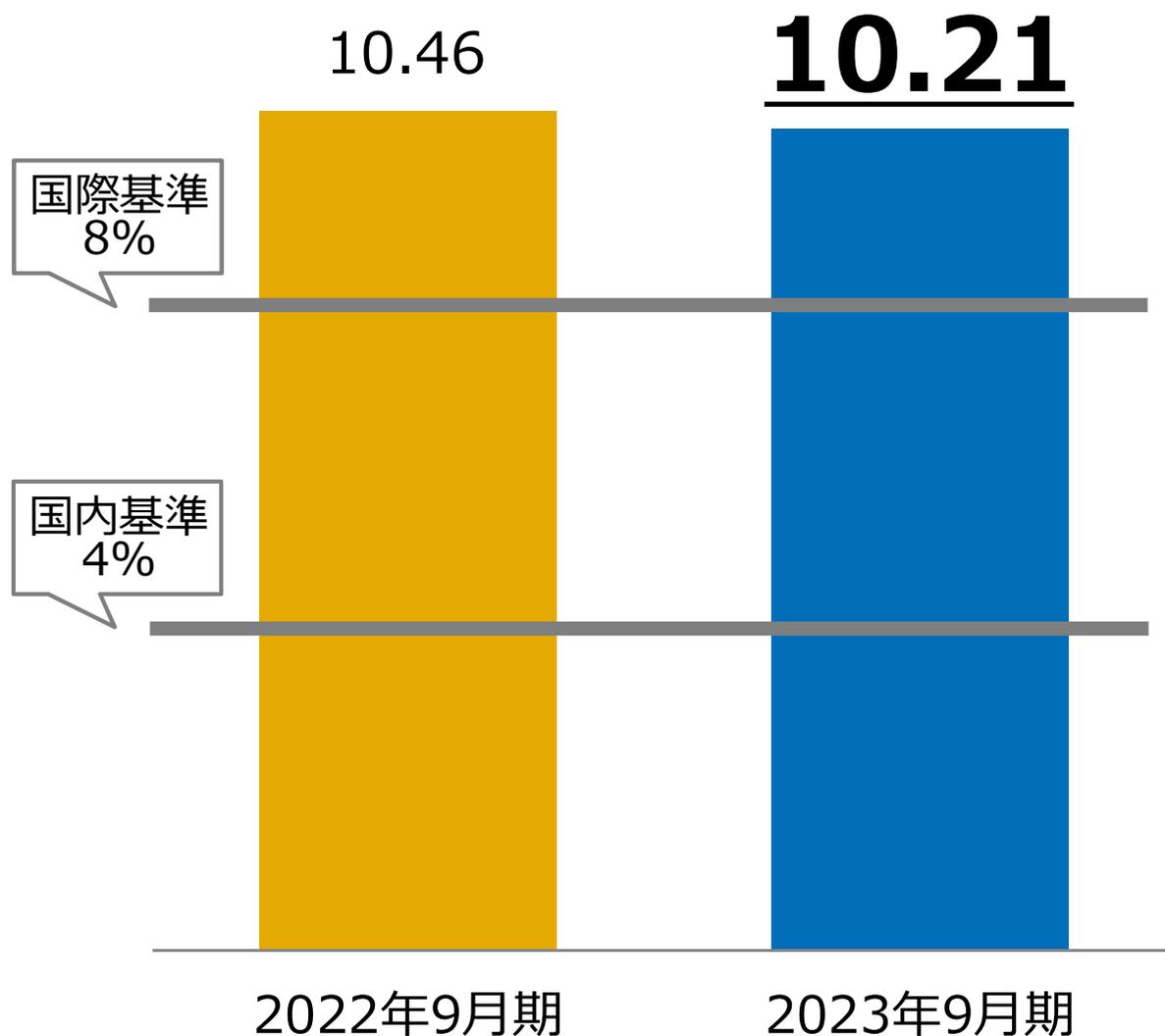
前年同期比+4億円

- 県外大口先のランクダウンが発生したことなどからネット信用コストは増加
(ただし計画対比では2億円下回る)
- 物価高や円安などによる影響を注視し、営業部門と審査部門が連携したお取引先の経営改善・事業再生などのご支援に引き続き注力する

2022年9月期

2023年9月期

FG連結 (%)



前年同期比

▲0.25pt

- FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

中間期は当初業績予想を上回り、**FG連結純利益の進捗率は68%**と**順調に進捗**

但し、地政学的リスクの更なる高まりをはじめ、世界経済情勢の不確実性が一層高まっているほか、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めなど、今後の国内経済および金融市場動向の先行きが不透明であることから、通期の業績予想値は、当初公表値を据置き

FG連結 (億円)	2024年3月期 業績予想	2023年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
経常利益	275	176	64.3%
当期（中間）純利益※	201	138	68.7%

※ 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

銀行単体 (億円)	2024年3月期 業績予想	2023年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
コア業務純益	278	169	61.0%
経常利益	224	149	66.5%
当期（中間）純利益	154	104	68.0%



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。